

わか草



第十二回 平成二十一年十月一日
発行 東京都立東部療育センター
広報委員会
東京都江東区新砂三三二二十五



花火を楽しむ夕べ 駐車場にて

インフルエンザとこころの健康

診療部長 益山龍雄

爽りの秋を迎え、すがすがしい日々が続いています。

しかし、今年には四月に発生した新型コロナウイルスの世界的規模での流行がみられています。九月以降は、多くの学校や施設で集団感染の発生が報告されています。当センターでも、入所者、職員共に感染が発生しており予断の許さない状態が続いています。そのため、感染予防対策や感染時の対応についての検討が進んでいます。

当センターは重い障害を持った方々が入所されているので、日頃、感染の広がりがないように細心の注意を払わなければならないと考えています。

今回、みえないウイルスが相手のために、日々の予防策の確実な実行が大変重要です。インフルエンザウイルスは、感染をしている人の分泌物がついたものをさわってひろがる接触感染と咳や、くしゃみをしたときの鼻水や唾液などが飛ぶことによっておこる飛沫感染により広がります。そのため、人混みをさける、咳エチケット、手洗い、うがい、うつさないためのマスクの着用が大変重要です。さらに予防接種を

うけることがより大きな予防策になります。感染した場合には、迅速な治療と感染を広げないようにする対策が必要となります。ただ、忘れていけないことがあります。それは、利用者様が健康であるということは、身体的な病気にかからないだけでなく、心が健康であるということです。インフルエンザの流行している時期こそ、心の健康についての配慮がおろそかにならないように注意しなければなりません。

利用者様、職員共に、病気にかからないように、体力や栄養をつけ、体を強くするだけでは不十分です。

病気をすると心細くなり、人恋しくなると思います。隔離することだけを考えてると、孤独やストレスで心が病気になるってしまい、病気もなかなか治らなくなるのです。そのために、普段から、心の健康を養うために、笑顔の声かけが必要だと思えます。

皆が笑顔で挨拶できる環境は、病気も寄りつかないのでと密かに考えています。センターでも、感染予防のための配慮をしていきます。そして、もし、個別対応になったとしても、笑顔で接しながら、利用者様の心に暖かい気持ちをお届けしていきたいとおもいます。

毎日が楽しく過ごせる環境作りをして、笑顔で病気を吹き飛ばしましょう。

委員会紹介

今号も引き続き、当センターの委員会を紹介したいと思います。

【サービス向上委員会】

当センターのサービス向上や要望事項の改善を目的に設けられている委員会です。委員会のメンバーには当センターの職員だけでなく、外部の第三者委員二名も加わって頂き、要望等の改善に客観性や社会性をもたせるようにしています。利用者の皆様からの要望を直接出して頂けるように、一階総合受付前と公衆電話横に投書箱を設置しています。今までは利用者の方からの要望を受けて改善を検討することが中心でしたが、今後は積極的なサービス向上を目指して活動していく予定です。

【ボランティア委員会】

ボランティア委員会は、ボランティア活動の推進及び円滑な実施を目的として設置されている委員会です。具体的にはボランティアさんの受入れ・活動に際してボランティアさんと関係部署

との連絡・調整を行っています。

センターではおもちゃ図書館・朗読・療育活動への参加等で継続的に活動をして下さる「一般ボランティア」、原則毎月第二水曜日十三時三〇分〜十五時三〇分に楽器演奏・ダンス等をして下さる「アトフクシヨンプランティア」のふたつのタイプのボランティアさんに来て頂いています。

利用者の皆さんが豊かな時間を過ごす上でボランティアさんの存在は欠かせないと感じています。これからもボランティアさんが継続的に活動できるように支援していきたいと考えています。

【広報委員会】

当センターの情報を様々な形で伝えるために設けられている委員会です。この情報をお伝えしている広報誌「わか草」の発行（年四回）、障雪見（者）の方についての情報をお伝えするメールマガジンの配信をしています。さらに、当センターのホームページの運営をしており、写真館からセンターの行事の様子を楽しんで頂いたり、最新の情報をお伝えするようにしています。広報委員会では皆様のご意見を反映した情報発信を考えていきたいと考えておりますので、ご意見をお寄せ下さい。

【栄養管理委員会】

「安全で喜んで頂ける給食の提供」と「体調を維持する栄養管理」を目的に開催する委員会です。

医師・看護師・MSW・事務と栄養士が「検査による食事評価」「飲食物料費の検討」「栄養の摂り方」など、より良い食環境作りについて協議しています。また、下部組織として「摂食嚥下障害対策部会・摂食WG」を持ち、摂食ラウンド（回診）を行って、その方に合った食事介助法を多職種で検討する活動をしています。本年は摂食部会で「食事介助の手順」を作成中です。

【薬事委員会】

薬事委員会は院長の諮問機関でメンバーは医師、薬剤師、看護師、事務で構成されています。その仕事の内容は、医薬品の新規採用、緊急使用医薬品及び新規院内製剤等の審議承認、使用医薬品の検討・整理・変更・中止及び使用医薬品の医学的・薬学的評価や適正使用勧告等、副作用情報等多岐にわたります。例えば新しい医薬品を採用するには薬事委員会の審議を経て承認後、院長の答申を経て採用が決定されます。

【療育会議】

療育に関する具体的な事項を協議し、センター利用者様の療育の質的向上に寄与することを目的とし、年三回開催しています。会議のメンバーは、医師、看護師、生活支援員、栄養士、事務、リハビリ科職員、MSWなど様々な職種の職員で構成しており、年間行事の企画、運営の検討など療育に関することについて話し合っています。

今後は、次年度以降のバスハイクの実施方法や呼吸器装着者のプール実施などについても話し合っていく予定です。

【教育連絡協議会】

院内にある墨東特別支援学校かもめ分教室の学校教育・分教室の運営などについて、年三回センター側の幹部と学校側の幹部が集まり、意見交換や協議事項についての検討などを行っています。

緊急性を要する事項が発生した場合は、臨時開催する事もあり、最近では、インフルエンザ対策について話し合いました。また、開催時期が学校の学期末にあたる為、学校側の担当者より、毎回児童の成長などについての学期報告も行っています。



花火を楽しむ夕べ

♪「ドーン」と咲いた花火がきれいだなく空いっぱい広がった♪
 八月五日、十二日、十九日に病院行事「花火を楽しむ夕べ」が開催されました。

いつもより夕食時間を三十分早め、各病棟の利用者様を三つのグループに分けての参加。三十分の行事ではありましたが、ご家族も参加され、はじめて手持ち花火を銘々楽しんで頂き、続いて職員の点火によるドラゴン、打ち上げ花火、圧巻はナイアガラの滝の仕掛け花火を楽しんで頂きました。皆さん花火の煙に包まれながらも、日頃病棟では見られない笑顔が沢山見られました。

特に打ち上げ花火、ナイアガラの仕掛け花火では、歓声と感嘆の音があがり、企画した職員も満足のいく出来映えでした。

来年も会場でお会いすることを約束し、終了しました。関係者の皆さんで協力有難うございました。



通所 夏祭り

八月二八日金曜日に通所の夏祭りを行いました。夏祭りに向けて、利用者様と「団扇作り」を活動内で実施。裏は牛乳パックを溶かし、紙すきをし、表は「夏」の文字と周りにシールを貼り、とても素敵な団扇が出来上がりました。当日はご家族の方々も多数出席して頂き「夏祭り」を楽しみにしていた利用者様とご家族で賑やかな雰囲気になりました。

室内では「ボーリング」や「クジ引き」のゲームがあり「かき氷」ではシロップの種類やお皿の大きさを決めたりと大盛況でした。

療育場では「水鉄砲的当てゲーム」や「ヨーヨー釣り」「スイカ割り」があり、夏らしく涼を感じてもらえたと思います。

午後にはデイルームで部屋を暗くしてゆったりと「プラネタリウム」を鑑賞し、リラククスして頂きました。

そしていよいよ盆踊りの時間です。利用者様が作った団扇を持って「炭坑節」や「ドラえもん音頭」など車椅子でも振り付けして踊りを楽しみました。

盛りだくさんの内容に利用者様・ご家族の皆様にも笑顔で楽しんで頂いた一日となりました。

東部なぐに コンセントの種類はいくつ??

当センターのコンセントは、医療用と一般用に大別され、さらに三種類に分かれます。医療用は、電圧が安定しています。一般用は、医療用よりは安定度が低く必要に応じてアース線を付けています。それぞれ三種類ありますので、当センターのコンセントは計六種類になります。コンセントの色による違いは次のとおりです。

【白色コンセント】

通常、東京電力の二箇所の変電施設から電気の供給を受けています。二箇所とも電気の供給がなくなった場合は停電になってしまいます。医療機器や電子カルテのパソコンなどは使用できなくなりますので、非常電源用のコンセントを使用してください。
 非常電源は二種類あります。

【赤色コンセント】

停電時に一分ほどで自家発電による電気の供給が開始されます。廊下や部屋の照明が三割程度になるとともにエレベータも殆ど使用できなくなります。概ね五十時間の電気の供給ができます。

【緑色コンセント】

無停電で瞬時に電力の供給をします。電源は蓄電池です。供給できる時間は一〇分程度です。自家発電が起動すれば緑色コンセントにも赤色コンセント同様に電気が供給されますので、時間には大幅に拡大します。人工呼吸器などの医療機器に使用します。

病室のベットサイドのコンセントには医療用の表示はありませんが、医療用になっています。それ以外は一般・医療用の表示をしてあります。非常時にコンセントの付け替えなどはしていただけないので非常時に使わない機器類は、一般用の白色コンセントにつなぐようにお願いします。



朗読ボランティア紹介

入岡 曉さん

【三南、二南で紙芝居の朗読活動をしている入岡さんを紹介します】



朗読風景

私が、今までこうして人生を送る事が出来たのも沢山の方々の支えがあったからだと思っています。定年後、朗読に係わる事が出来ました。

今までのお返しがここで出来たらと思いはじめました。そしてボランティア活動の初めての出会いが東部療育センターの利用者さん三南病棟の方々でした。初めは、本当に戸惑いと会話がお互いに通じないという事でした。半年位まで辞める事ばかり考えていました。でも不思議な事にだんだん利用者さんの反応が体で感じる事が出来始めました。

気が付くと、「私の声」を覚えてくれ始めたのです。私は嬉しくなりました。

“頑張ろう”と思いました。

ある日、職員の方から「利用者さんとご家族の方も入岡さんの来るのを楽しみにしています。」と聞かされました。

私は辞めようという気持は何時の日にか消えました。

今では二南、三南病棟で活動しています。皆、大切な命です。少しでも利用者さんの笑顔が見れる事とお役にたてたら幸せです。

東部あれこれ

今年の七月から九月にかけて当院で行われた行事等について紹介します。

【七月】

看護師募集活動の一環として、看護フォーラム（合同就職説明会）が十二日（日）札幌で、二十六日（日）には東京ビッグサイトで開催され、人事担当（事務）と看護職員とで東部療育センターへの募集活動を行いました。

【八月】

昨年からは始まった「花火を楽しむ夕べ」が五日、十二日、十九日の毎週水曜日午後六時三十分から行われ、多くの利用者様、ご家族、職員が一時暑さを忘れて楽しみました。ご家族を始

め、多くの方々のお手伝い・ご協力ありがとうございました。

【九月】

一日、東京湾北部地震（マグニチュード七・三、震度六強）を想定した総合防災訓練を実施しました。当日は災害対策本部を設置し、院長以下、職員、委託職員約三十名が参加して被害状況の把握、担架を使つての怪我人搬送、非常食の保管場所の確認等を行いました。

二十三日（水・祝日）、二十四日（木）に、新型インフルエンザの流行で実施が延期されていた「全国重症心身障害児（者）を守る会創立四十五周年記念大会」が港区のグランドプリンスホテル新高輪で開催されました。当センターからは十二名の職員が参加し、大会成功を祝しました。



センター 夏の風景

永年勤続を迎えて 三階南病棟 松井みゆき

『十年ひと昔』と言いますが、新人看護師として就職してから、もう十年経ったのだなと言うのが正直な気持ちです。折りしも、今年度は新人看護師のプリセプターをしていて、ひと昔前は私も・・・と、感慨深く思う日々です。

この『ひと昔』の間には、楽しかった事、面白かった事、悩んだ事、辛かった事・・・色々なことがありました。これらを振り返ると、様々な形で協力してくれるスタッフ、そして、どんな時でもいつもと変わらずにいてくれる利用者様、多くの人に支えられていたことで十年間過ごすことができたのだなと思います。

これからも、無理せずにスタッフや利用者様と過ごしていきたいと思いません。

編集後記

わか草第十二号をお届けします。日が短くなり、木々の葉も色づいてきました。夏の行事も、今では遠い思い出のようです。季節の変わり目、新型インフルエンザの流行に際し、センターでも対応策を立てております。皆様も十分、体調にご留意されますようお願い致します。